



2023年12月12日

各 位

株式会社ミマキエンジニアリング
代表取締役社長 池田和明
(コード番号：6638 東証プライム)
問い合わせ先 常務取締役経営企画本部長 清水浩司
電話番号：0268-80-0058

アームロボ導入でオペレーターの作業時間を90%削減
オーダーグッズ・工業製品プリント自動化パッケージシステム「M2COA」シリーズを発表
～プリントサービスのDX化で人手不足を解決～

当社は、当社製UVプリンタ製品と連動して自動的に印刷媒体（メディア）を配置・回収し、オーダーグッズや工業製品のプリント工程を自動化するパッケージシステム「M2COA（エムツーコア）」の発売を発表し、12月下旬より日本国内で販売を開始しますので、別紙のとおりお知らせいたします。

以上

アームロボ導入でオペレーターの作業時間を 90%削減
オーダーグッズ・工業製品プリント自動化パッケージシステム「M2COA」シリーズを発表
～プリントサービスの DX 化で人手不足を解決～

M²COA



産業用インクジェットプリンタ、カッティングプロッタ、3D プリンタを手掛ける株式会社ミマキエンジニアリング（本社／長野県東御市、代表取締役社長／池田 和明）は、当社製 UV プリンタ製品と連動して自動的に印刷媒体（メディア）を配置・回収しオーダーグッズや工業製品のプリント工程を自動化するパッケージシステム「M2COA（エムツーコア）」の発売を発表し 12 月下旬より日本国内で販売開始を予定します。

現代社会において人手不足は大きな課題となっており、特に製造業における労働人口の減少は年々深刻化しています。後進が育たない、優秀な人材が退職してしまった等の理由から人手が足りていない企業は増加傾向にあり、企業として喫緊の課題に挙げられることも少なくありません。

人手不足の解消や省人化を進める有効な手段のひとつが DX（デジタルトランスフォーメーション）化であり、DX 化は経済産業省によって「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」と定義されています。（引用：[デジタルガバナンス・コード 2.0](#) | 経済産業省）

DX 化を推進することで、人手不足はもちろん人件費高騰、生産効率の課題を解決に導き、競合から優位性を獲得することは、各企業の持続にも必要不可欠です。産業用プリンタのメーカーとして、当社がその自動化パッケージシステムを製品化することで、産業プリント工程の DX 化を推進するお客様に以下のメリットを提供いたします。

1. プリンタ・RIP（出力用画像データの変換処理ソフト）・ロボットの連携動作の効率化
2. これらの保守サポート窓口の一本化により迅速なアフターサービスの提供
3. 標準パッケージ製品の販売による導入コストの低減

今回発表する「M2COA」は、「協働ロボット」*1 を採用したアームロボ 1 台が最大 3 台のプリンタと連動し、自動的にメディアを配置・印刷指示・回収するプリント工程自動化システムです。単純なメディア配置作業を自動化することで、プリント工程のオペレーターの作業時間を約 90%削減し*2、自動化が困難な後加工や品質検査の仕事も担え人手不足を解決します。また無人運転も可能で 1 日当たりの生産量を約 20%増加*3 できます。

さらに、DX 化のボトルネックとなりやすい IT 人材の不足に備えて、「M2COA」は Sler（システムインテグレータ）などの専門業者なしで導入・移設ができるパッケージ製品です。導入からオペレーターのトレーニング、及び定期点検や導入後の移設まで、当社のサービスネットワークにより場所を問わず一貫したサポートを提供します。システムの操作は専用制御ソフト「M2COA PROCESS」一つで指示し、プリンタ・ロボット・RIP が連携して動作するため、高度なソフトの知識が無くても運用できます。

*1 協働ロボット：人と接触しても安全が確保できるため安全柵で隔離する必要が無い、人と同じスペースを共有しながら一緒に作業できるよう設計されているロボット

*2 プリンタ 3 台のメディアの配置・回収を手作業で 1 日 8 時間行っていた従来と比べ、M2COA は供給ストックへのメディアセット（1 回当たり 30 分、1 日当たり 1 時間）のみ手作業を必要とし、作業時間が 8 分の 1 となる

*3 プリンタ 3 台で A3 シート 2 面付けのプリント工程を、手作業では 8 時間稼働時 268 枚/日の生産に対し、M2COA は 11 時間連続運転で 320 枚/日の生産が可能（供給ストックへのメディアセットは作業者が労働時間内に行う必要がある）

「M2COA」の本体価格は 1 台 935 万円（税込。プリンタは別売）で、日本国内で年間 30 台の販売を見込んでいます。

ミマキエンジニアリングでは、『新しさと違い』を経営ビジョンに掲げ、常に新たな技術革新を目指し、お客様が求める「美しさと速さ」の実現を追求し続けてまいります。

◎本プレスリリースの概要

1. 最大 3 台の当社製 UV プリンタのメディアセットを自動化するオーダーグッズ・工業製品プリント自動化パッケージシステム「M2COA」を 2023 年 12 月下旬から販売開始
2. 「協働ロボット」を採用し、プリント工程のオペレーターの作業時間を約 90%削減（従来の 8 分の 1）。さらに無人運転により日当たりの生産量を約 20%アップ
3. 専門業者無しで導入可能。当社のネットワークにより導入、定期点検、移設まで一貫してサポート

◎M2COA の特長

1. プリント工程の省人化・無人化により人手不足の解消と生産性の向上
 - －最大 3 台のプリンタと連動し自動的にメディアを配置・回収を行うことで作業員一人当たりが受け持つプリンタの台数を増やす（省人化）と無人運転による自動生産（無人化）が可能
2. 安全柵による隔離が不要な自動ロボット
 - －「協働ロボット」を採用し、作業員と接触しても安全が確保できる自動化システム
3. 様々な設置環境に柔軟に対応
 - 1) Sler（システムインテグレータ）が不要。サービスマンのみで納入設置ができるシステムパッケージ
 - 2) ロボットの可動範囲内で設置場所の変更が可能
4. 一つの制御ソフトの操作で簡単に運用
5. 当社のプリント品質安定機能により、自動生産時も安定した品質を提供
 - －当社のプリンタに搭載される自動ノズルチェック機能とノズルリカバリ機能により安定した自動生産品質を実現

◎主な仕様

項目		仕様
対応プリンタ	台数	最大 3 台
	機種	UJF-7151plus/plusII UJF-3042MKII/MKIIe, UJF-6042MKII/MKIIe *後日対応
メディア	最大サイズ	各プリンタ機種の仕様に準ずる
	最大重量	5kg
	厚さ	1mm 以上、各プリンタ機種の最大対応厚み以下
メディア供給ストッカ	形状	積み上げ方式
	ストック量	高さ 500mm 以内
メディア配置	面付け数	最大 4 個

株式会社ミマキエンジニアリングについて

ミマキエンジニアリングは、産業用インクジェットプリンタ、カッティングプロッタ、3D プリンタおよびそのインク、ソフトウェアの開発・製造・販売・保守を行っています。サイングラフィックス、インダストリアルプロダクト、テキスタイル・アパレルの市場に向け、プリント工程のトータルソリューションを提供することにより、お客様に常に「新しさと違い」をお届けするイノベーターを目指しています。

企業・IR サイト： <https://ir.mimaki.com/>

製品サイト： <https://japan.mimaki.com/>

お問い合わせ先

◎報道関係者様からのお問い合わせ先

株式会社ミマキエンジニアリング

営業本部グローバルマーケティング部

インサイドセールスグループ

長野県東御市滋野乙 1628 - 1

TEL : 0268-80-0078 / FAX : 0268-80-0041

MAIL: press@mimaki.com

◎一般のお客様からのお問い合わせ先

WEB サイト問い合わせフォームより

お問い合わせください。

<https://japan.mimaki.com/inquiry/negotiation/>